

# 向井潤吉

いのち  
民家、生命に満ちた風景



榛名にて(群馬県群馬郡榛名町) 制作年代不詳

1998年10月3日[土]—12月23日[水]

開館時間—午前10時—午後6時(入館は5時30分まで)

休館日—毎週月曜日(休日にあたるときは翌日)

観覧料—一般200円(160円) 大高生150円(120円) 中小生100円(80円)

65歳以上及び障害者の方100円(80円) ( )内は20名以上の団体料金

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL 03-5450-9581

奥丹波の秋(京都府船井郡丹波町) 1969年







不詳 制作年代不詳



戸隠(長野県上水内郡戸隠村) 1961年頃

# 向井潤吉

## いのち 民家、生命に満ちた風景

向井潤吉先生は、昭和20年の秋より、40年余りにわたって、日本全国に旅されながら、草屋根の民家を描き続けてこられました。その作品数は2000点を超えるものであろうと推測され、取材地もはばひろく、北海道から九州にまで及んでいます。

つねに現場におもむき、心ひかれた民家の前にイーゼルを立て、自然の景観も画面にとりこんで制作された作品は、四季折々の風情と独特な臨場感を湛え、観る人の心の中にそこはかかない郷愁を感じさせます。

それぞれの地域の風土は、自然環境を土台として、人々が生活を営んでいくための慣習や産業、また風俗や伝統など、さまざまな要素が相俟って形成されてきました。それぞれの土地に根づいた民家は、こうした多様で独特な風土によって生まれ、営々としてその土地に生きる人々の大切なよりどころとなり、と同時に人々の生命を守り助けながら、その存在を意義深いものにしてきたと言えます。

このたびの展覧会では、戦後より、向井潤吉先生が一貫して制作を重ねてこられた民家作品の数々を、油彩作品と水彩作品によってご紹介いたします。



不詳 制作年代不詳



春叢(埼玉県東松山市神戸) 1988年



飯能中山宿  
(埼玉県飯能市中山) 1966年



篠山の武家屋敷(兵庫県) 1965-75年頃

### ●最寄り交通機関のご案内

- 東急新玉川線【駒沢大学】 駅西口 下車/徒歩10分
- 東急世田谷線【松陰神社前】 駅 下車/徒歩17分
- 東急バス (流05) 渋谷～弦巻営業所 【駒沢中学校】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス (等11) 祖師谷折返所～等々力 【駒沢三丁目】 停留所下車/徒歩3分
- 東急バス (流11) 渋谷～田園調布 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分
- 東急バス (流13) 渋谷～站本村 【駒沢大学駅前】 停留所下車/徒歩10分

世田谷美術館分館  
向井潤吉アトリエ館  
〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL 03-5450-9581

